

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午後、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害な**カレニア・ミキモトイが最高で3,500cells/ml、シャットネラ属が7,600cells/ml**確認されました。

カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属ともに増殖しており、特に養魚場のある湾中央部で漁業被害が想定される密度を大きく超えていました。

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
鳴無	1m	110	160
	2m	150	450
中学校前	1m	2	4
	1.5m	200	400
目ノクソ	1.5m	1,600	7,600
	2m	500	1,300
光松	1.5m	2,000	2,600
	2m	1,200	1,650
大鹿	1.5m	3,500	3,500
	2m	900	1,350
水試小割前	2m	250	230
	3m	170	230

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

